

山口大学医学部&附属病院から笑顔と情報を発信するコミュニケーションマガジン

# 山|大|医|学|部 病|院|だ|よ|り

Yamaguchi University  
Faculty of Medicine and Health Sciences

Yamaguchi University Hospital

News



医学部附属病院 新病棟「A棟」竣工



7

2019

VOL.243

# A棟 竣工

## 記念式典開催



山口大学は、  
新しい時代を駆け抜けます。

6月1日（土）、小串キャンパスオー  
ディトリウムにおいて、医学部附属病  
院A棟（新病棟）の完成を記念して、  
学内外から約210人が出席する中、  
竣工記念式典を催しました。

式典では、岡正朗学長が式辞に立ち、  
「高度で安心・安全な医療の提供、新た  
な治療の開発、医療人の育成をこれま  
で以上に充実させ、患者さんのニーズ  
に応じていくよう取り組んでいく」と  
述べるとともに、これまで整備事業に  
関わった関係者への謝意を表しました。

続いて、杉野法広病院長が、「平成27  
年から国立大学病院としては初となる

2回目の再開発整備事業を開始し、こ  
の新病棟は病院機能の中心となる。今  
後も改修を順次進めて、高度な医療の  
提供、医学・医療の進歩に貢献できる  
高いレベルの研究、将来を担う医療人  
の育成を行い、山口県の中核医療機関  
としてさらなる発展を目指す」と挨拶  
しました。

その後、ご来賓を代表して、安倍晋  
三内閣総理大臣（代読：配川博之様）、  
河村建夫衆議院議員、林芳正参議院議員、  
平井明成文部科学省文教施設企画・防  
災部長、村岡嗣政山口県知事（代読：  
弘中勝久山口県副知事）、柳居俊学山口

県議会議長から祝辞をいただきました。  
来賓紹介、祝電披露に続き、新病棟  
建設に尽力いただいた企業4社に対し、  
岡学長から感謝状を贈呈しました。

続いて、新病棟オーディトリウム（大  
講義室）のこけら落としを兼ねて、日  
本フィルハーモニー交響楽団による木  
管五重奏の演奏が行われました。五重  
奏の美しいハーモニーとともに和やか  
な空気が会場をつつみ、列席者の耳を  
楽しませました。

その後、オーディトリウムロビーに  
おいて来賓および学内代表者によるテ  
ープカットが行われ、参加者全員で新  
病棟の竣工を祝い、記念式典は閉式し  
ました。

式典終了後、内覧会が行われ、参加  
者は最新の設備を備えた先進救急医療  
センターとクリエイティブユニット  
KIGIによるホスピタルアートが随  
所にあしらわれた小児科病棟を見学し  
ました。

会場を変えて、宇部市内のホテルに  
おいて約170人の出席のもと新病棟  
竣工記念祝賀会を催しました。祝賀会  
は谷澤幸生医学部長の挨拶に始まり、  
杉野病院長の挨拶、来賓の玉上晃文部  
科学省大臣官房審議官、榎屋敬悟衆議  
院議員、江島潔参議院議員、河村康明  
山口県医師会長から祝辞をいただきま  
した。

その後、岡学長ら主催者と来賓によ

る鏡開きが行われ、久保田后子宇部市  
長による乾杯のご発声のもと、懇談が  
始まりました。  
最後に、田口敏彦前病院長による一  
本締めが行われ、祝賀会は盛況のうち  
に終了しました。  
新病棟は地上14階、地下1階で、延  
べ床面積約35000平方メートルで、  
屋上ヘリポートや最新機能を備え増室  
された手術室等により、急性期医療及  
び高度医療の充実を図ります。また、  
災害時の臨時治療スペースや免震装置  
等を備え、山口県の災害時医療拠点と  
しての役割を果たします。



### 先進医療の新たな一歩がここから

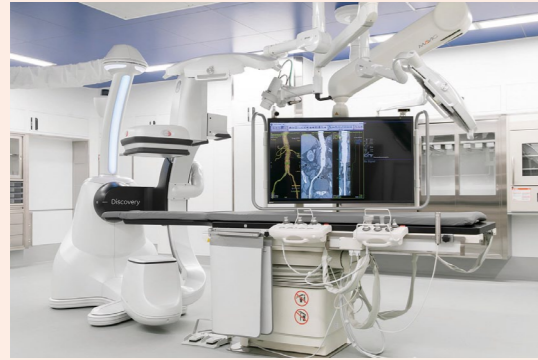


①多くの来賓を招いての式典 ②岡正朗学長による挨拶 ③杉野法広病院長による挨拶  
④日本フィルハーモニー交響楽団による木管五重奏 ⑤ロビーでのテープカット ⑥～⑨内  
覧会 ⑩クリエイティブユニットKIGIによるホスピタルアートの説明 ⑪谷澤幸生医学部長  
による挨拶 ⑫主催者と来賓による鏡開き ⑬田口敏彦前病院長による一本締め



# Report

## A棟(新病棟)竣工内覧会 開催



ハイブリッド手術室

5月18日(土)及び19日(日)、一般住民の方、報道機関、県内医療機関関係者及び行政機関関係者を対象としたA棟竣工内覧会を開催し、両日合わせて772名の方に参加いただきました。

当日は、稼働開始後は入ることのできない手術部や集中治療部、ホスピタルアート(※)いっぱいの小児科病棟、最大344席を収容可能なオーデトリウム(大講義室)を、順路に沿ってご覧いただきました。参加者の皆さんは、時折スタッフへ質問しながら、興味深く院内を見学されていました。

※ホスピタルアート：病院にアートを取り入れることによって心地よい空間を創り出す取り組み



受付

手術部



集中治療部

新病棟の詳細はこちらへ

山口大学 再開発 検索

再開発整備事業URL  
http://h-seibi.hosp.yamaguchi-u.ac.jp



医学部附属病院 新病棟

## 「A棟」施設機能紹介

A棟

フロア構成



屋上ヘリポート

14F 屋上ヘリポート

13F 設備室フロア

12F 入院フロア

11F 入院フロア

10F 入院フロア  
脳卒中ケアユニット

9F 入院フロア

8F 入院フロア

7F 入院フロア

6F 入院フロア  
総合周産期母子医療センター  
(NICU・GCU・MFICU)

5F 設備室フロア

4F 手術部

3F 集中治療部  
輸血部  
病理診断科

2F 栄養治療部  
薬剤部  
医療材料物流センター

1F 病棟案内・救急外来  
先進救急医療センター  
オーデトリウム

オーデトリウム



14F 屋上ヘリポート



山口県唯一の高度救命救急センターを有していることから、屋上ヘリポートを整備し、手術室や先進救急医療センターとエレベーターで直結することで、緊急時の受入体制を充実させました。

7F~12F 入院フロア



見通しの良いオープンスペースとしたことで、スタッフステーションから病室・廊下が広く見渡せ、患者さんの観察性が向上しました。また、病室への動線が短縮されたことによって、患者さんへの更なる迅速な対応が可能となっています。病室は窓を大きく確保することで、太陽光を取り入れた明るい病室としています。内装と家具は調和のとれた、落ち着いたモダンな色合いで統一しています。

3F 集中治療部



手術室の増室に伴い病床を12床から16床へと4床増床したことに加え、各病床面積の拡充及び医療設備の充実によって、更なる術後患者への高度な集中管理を提供できる体制を整備しました。

1F オーデトリウム



最大344席を収容可能なホールとして、市民公開講座や学会・セミナー等に利用いただけます。災害時には、机・椅子を収納することで、約200㎡の臨時治療スペースとして使用できます。



6F 総合周産期母子医療センター



ハイリスクな分娩の受入対応強化のために、GCU(新生児回復治療室)を8床から12床へと4床増床しました。県内の分娩取扱医療機関が減少している現状を踏まえ、ドクターヘリやドクターカーを活用して県内からの要請への対応を強化していきます。

4F 手術部



手術室を12室から16室に増室するとともに、心臓や脳などの血管内治療を行うハイブリッド手術室、手術室とMRIが一体化したMRI手術室などの高度機能を有した手術室を整備しました。患者さんの不安を少しでも和らげるため、手術室の廊下は、木目を基調とした明るい空間としています。また、手術室内及び廊下を広くとることで、スタッフにとっても働きやすい環境となりました。

1F 先進救急医療センター



センター内に病床と初療室、検査機器(CT、血管造影、X線撮影)を集約配置することで、急性期疾患に対して迅速な治療を実施します。

高度急性期医療の新拠点

総合周産期母子医療センター

手術部

先進救急医療センター

# 形成外科を 開設しました



## 1. ご挨拶

形成外科の診療科長の高須啓之です。これまで当院では、形成外科診療を皮膚科内診療班で行って参りましたが、2019年4月より新たに「形成外科」を独立した診療科として開設しました。

「形成外科」が単独の診療科となることで得られる利点としてまず挙げられるのが医師の養成です。これまでは山口大学で形成外科医になる基盤がなく、形成外科医を目指す山口大学の卒業生は他府県へ流出し、大学病院における診療は県外からの派遣医師でまかなわれていました。近年形成外科の需要は年々高まっており、学内養成を進めていくことは必須と考えます。科として独立することで専門医を取得するための研修が認められ、ようやく当院で形成外科医を育てることが可能となりました。

マンパワーの充実は医療の向上に直結し、最終的に患者さんに還元されます。まだ開設当初で非力ではございますが、長期的視点で山口大学及び山口県の形成外科診療の発展に貢献していく所存ですので、何卒宜しくお願い申し上げます。

## 2. 診療内容

形成外科で治療を行う疾患としては、以下が挙げられます。

新鮮外傷・新鮮熱傷、顔面骨折および顔面軟部組織損傷、手・足など体表面の先天異常および外傷、母斑、血管腫、皮膚の良性・悪性腫瘍およびそれに関連する再建、乳房再建、頭頸部再建、瘢痕、瘢痕拘縮、ケロイド、褥瘡、難治性潰瘍、糖尿病性足潰瘍、眼瞼下垂症、陳旧性顔面神経麻痺、下肢静脈瘤、巻き爪、腋臭症など

## 3. 診療の特色

形成外科では外科の基本である「きずをきれいに縫う」ことを重視しています。手術後のきずあとのケアまで専門治療を一貫して行っていますので、特に小児や女性の顔面など整容面の配慮が望ましい場合は、御気軽にご相談下さい。

またマイクロサージャリーを用いた再建術（組織移植術）を専門としており、頭頸部悪性腫瘍切除後の再建や、乳房再建に力を入れています。

形成外科診療科長 高須啓之

- 平成18年 神戸大学医学部医学科卒業  
初期研修後
- 平成20年 製鉄記念広畑病院形成外科
- 平成21年 神戸大学医学部附属病院形成外科
- 平成23年 同上 特定助教
- 平成29年 兵庫県立西宮病院形成外科 医長
- 平成31年 山口大学医学部附属病院形成外科 准教授



レーザー治療も可能です

## 1 「看護の日」記念行事を行いました

5月14日(火)、「看護の日」記念式典を開催しました。「看護の日」は、ナイチンゲールの誕生日である5月12日を記念したもので、その前後1週間(今年は12日から18日まで)を看護週間とされています。

式典では、杉野病院長から日頃の看護に対する感謝が述べられ、原田看護部長へ花束が贈呈されました。続いて、各病棟スタッフが「自部署の取組み」をテーマに作成したパネル、写真・絵画や川柳の優秀作品が発表され、杉野病院長から表彰が行われました。

また看護フェアと称して、医療スタッフによるブースが設けられ、栄養指導、健診、専門看護師・認定看護師による手洗い指導、血糖測定・糖尿病指導などが行われました。その他、「小さな看護師さんコーナー」では、



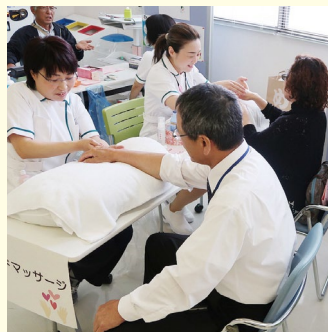
杉野病院長から原田看護部長に花束贈呈

子どもたちが白衣姿での記念撮影を楽しむ様子も見られました。

多くの方に参加いただき、改めて看護の大切さを知る良い機会となりました。



「小さな看護師さんコーナー」での記念撮影



医療スタッフによるハンドマッサージ

## 2 吸い殻クリーン作戦 実施!

6月3日(月)、医学部・附属病院周辺で「吸い殻クリーン作戦」を実施しました。

毎年5月31日は、世界保健機関(WHO)が制定した「世界禁煙デー」です。厚生労働省では、世界禁煙デーに始まる1週間を「禁煙週間」と定めており、それにあわせて、医学部と附属病院の労働安全衛生委員会は、毎年合同で「吸い殻クリーン作戦」を実施しています。

今年は医学部長、病院長をはじめ教職員約20名が参加し、禁煙アピール用のユニホームを着用して周辺の吸い殻等の清掃を行い、禁煙と喫煙のマナーの向上を呼びかけました。



医学部長・病院長もいっしょに周辺の吸い殻清掃

## 3 韓国 チェジュハラ大学看護学部・保健学部と 学部間国際交流協定を締結しました

6月5日(水)、医学部にて、チェジュハラ大学看護学部及び保健学部(The School of Nursing and School of Health Sciences Cheju Halla University = 以下、CHU)との学部間国際交流協定調印式を行い、チェジュハラ大学の Wui-Kyung Shin 国際部長、Hyun-Ju Kim 看護部長、本学部からは谷澤医学部長、野垣保健学科長が出席しました。

CHUは韓国、済州島に位置し、1969年の開校以来現在までに世界の10カ国62校の大学と協定を締結するなど極めて活発な国際交流を行っています。また、看護に関する国際学術誌 Journal of Problem Based Learning を出版しており、看護学部や保健

学部については国際的認知度の高い大学です。このたび、両大学の教員間の研究や学生などを中心とする交流を行うことについて合意に至り、国際交流協定を締結することとなりました。

調印式では、CHUの Wui-Kyung Shin 国際部長から今回の協定締結を機に、さらに両大学間の交流を促進していきたいとの抱負が述べられた後、両大学の学部長等が協定書へサインしました。

山口大学医学部は、今後も協定校との交流をさらに充実させ、お互いを高め合いながら学生・教職員の国際交流を推進してまいります。



写真左からHyun-Ju Kim看護部長、Wui-Kyung Shin国際部長、谷澤医学部長、野垣保健学科長



梅雨時期は気温・湿度が上昇していきますので、体調管理とともに食材の管理にも気を付けなければなりません。手軽でおいしく、しっかり火が通った安心な缶詰にも目を向けてみませんか。今回も缶詰を使ってできる「さば缶アレンジ麺」を紹介します。



### さば缶ナポリタン

栄養成分 エネルギー 約560kcal

材料 1人分

- スパゲティ……………75g
  - さば水煮缶……………1/2缶
  - 生姜……………少々
  - 玉葱……………1/4個
  - ピーマン……………5g
  - オリーブオイル…小さじ1
  - ケチャップ……………大さじ4
  - トマト……………20g
- (粉チーズ お好みで)

#### 作り方

- ① 玉葱は薄切り、ピーマンはヘタと種をとり薄切りにする。生姜はおろして、トマトはヘタをとりあらみじんに切る。
- ② 鍋に湯を沸かし、スパゲティを表示時間通りに茹でる。
- ③ フライパンに①の玉葱、ピーマン、生姜、さば水煮缶(汁ごと)、オリーブオイルを入れて炒める。
- ④ 全体的に火が通り、水分が少なくなってきたら、湯きりしたスパゲティ、あらみじんのトマト、ケチャップを③のフライパンに入れてさっと炒め合わせる。
- ⑤ 器に盛りつけ、お好みで粉チーズをふる。

#### ここがポイント!

- 味付缶詰の場合は、ケチャップなどの調味料を少なめに。
- 魚の臭みとりに生姜をしっかり使しましょう。
- 今回はスパゲティを茹でる時に塩を入れていません。さばや野菜の旨み加わり減塩でもおいしいです。

◎監修：有富早苗・福田有子



### さば缶梅しそうどん

栄養成分 エネルギー 約310kcal

材料 1人分

- 冷凍うどん…200g(1玉)
  - さば水煮缶……………1/3缶
  - 梅干し……………大1個
  - しそ……………1~2枚
  - 生姜……………少々
  - めんつゆ(ストレート)…60ml
- (レモン・大根おろし・トマト お好みで)

#### 作り方

- ① 梅干しは種を取ってから包丁でたたく。しそは洗ってせん切り。生姜はおろすか細かくきざんでおく。
  - ② ボウルにさば水煮缶、①の野菜を入れ、混ぜ合わせる。
  - ③ 鍋に湯を沸かし、冷凍うどんを表示時間通り茹でて、冷水で洗い、水を切っておく。
  - ④ うどんを器に盛り、めんつゆをかけ、②をのせる。よく混ぜ合わせて食べる。
- 大根おろしやくし切りレモン、トマトなどお好きな野菜をさらに加えてもおいしいです。

#### さばの効用

参考文献：食の医学館、水煮缶の健康レシピ

健康によいと注目の成分「IPA(EPA)」、「DHA」が豊富に含まれているさば。血液サラサラの効果がある「IPA(EPA)」、悪玉コレステロールを減らし、脳の機能維持にも役立つ「DHA」。そのほか血圧改善や肝機能を高めるといわれる「タウリン」なども含まれており、食事に上手に利用したいものです。食物繊維と一緒に摂れば、肥満や動脈硬化等の予防にさらに効果的。ただ、鮮度が落ちるのが早いさばは、アレルギー・食中毒の原因となるヒスタミンが増えやすいため、アレルギー体質の方や体調の悪いときには注意しましょう。缶詰は、鮮度のよいうちに加工するため、品質が保たれており、いつでもおいしく簡単に利用することができます。



公式Facebookページで  
山大病院の情報を配信中!!



皆さんからのご意見・ご感想をお待ちしております。  
今後読んでみたいテーマ、興味のある記事などお気軽にお寄せください。  
FAX 0836-22-2113 E-mail me202@yamaguchi-u.ac.jp  
企画発行 山口大学医学部広報委員会・山口大学医学部総務課総務係  
〒755-8505 山口県宇部市南小串一丁目1番1号 TEL 0836-22-2007  
医学部 <http://www.med.yamaguchi-u.ac.jp/>  
附属病院 <http://www.hosp.yamaguchi-u.ac.jp/>